

---

## いわて花巻空港SCU運用戦略策定からの教訓

(山野目辰味、日本集団災害医学会誌 20: 274-283, 2015)

2017年11月17日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

---

### 1. SCU 運用を含む岩手県災害医療制度設計

今後必要な災害医療体制整備として①津波災害対応アップグレード版、②県内内陸での地震などへの医療対応、③県外大災害時の県として統合的医療対応、④大災害時に発生したクラッシュ症候群などの県外被災地から、域外 SCU(花巻空港)への搬入及び県内多数傷病者事案への対応戦略、⑤専門家による災害医療コーディネータの研修教育システム、⑥CBRNE テロ、災害対応、⑦急性期医療から慢性期医療まで包括した各種保健医療チームによる連携をもった活動案の策定・訓練をまったなしに同時検討、整備を行う必要がある。

### 2. 地域医療搬送訓練

SCU 設営から広域医療搬送を前庭に、各地の市訓練あるいは県総合防災訓練において、被災地・救護所からヘリあるいは救急車等での負傷者搬送訓練を実施してきた所、県内の訓練参加 DMAT、被災地内病院、担当消防、防災航空隊において、後方病院あるいは SCU などへの負傷者の後方搬送を行うことが常識として醸成されたと考えられる。

### 3. SCU 設置・運用訓練

SCU 設置・運用の最も基本は県担当部局となるが、最も重要なことは、SCU を設営する空港の運用責任を担う、空港事務所である。そこで、人事異動があっても SCU をはじめとする災害時の空港の関連する医療体制即時発動が可能な状態に維持するためのシステム構築が必要である。

### 4. 広域医療搬送訓練

SCU 運用の前提として、地元の DMAT などにとってはセキュリティーの厳しい空港にスムーズに進入する方法を事前に検討することは重要である。そのため SCU 運用の整備の中で空港内に円滑に入場可能な身分の確認と進入許可などについて取り決めておく必要がある。

SCU 設置場所には様々な条件があり、空港事務所の協力で SCU の設置が決定した時点で、最初に SCU 設置を担当する DMAT によりなされることが理想的であり、事前協定なども考慮されるべきである。また、SCU 設置時に医療機器の借用を行う連携を空港近隣病院などとの間で平時から行っていく必要もある。

### 5. SCU 活動

SCU 設置が予定される各都道府県の空港では、まず当該都道府県の災害医療での指揮命令系統を SCU に掲示し、その連絡先も明示していく必要がある。活動する隊員のために空港周囲の宿泊、食事施設、またレンタカー会社などの場所と電話番号などを掲げておくことが必須となる。このように通信手段を含めた事前整備が、各都道府県 SCU 運用でのポイントの一つであると考えられる。

ヘリコプターの運用面では、積極的に DMAT を防災ヘリやドクターヘリで Serch&Rescur 的な活動として、現場各地に分担投入する活動も認識されるべきである。

また、すべての SCU 活動に関係する職種は、SCU にその上部機関との通信機器を携帯の上、参集することをマニュアル化すべきである。